

早稲田大学 大学院教育学研究科 出題意図および解答例

年 度	2026年度
試 験 日	2026年2月5日
研 究 科	教育学研究科
課 程	博士後期課程
専攻・コース等	教育基礎学専攻
入 試 制 度	専門職業人
試 験 科 目	小論文

出題意図及び解答例（解答のポイント）

【注意事項】

- ※公開する解答例には、別解がある場合があります。
- ※お問い合わせいただいた内容は本学で確認し、必要がある場合には、入学センターWebサイトに掲載いたします。個別に回答することはいたしません。
- ※お問い合わせ先：早稲田大学入学センター nyusi@list.waseda.jp

■出題意図

教育の実践的指導者、あるいは専門的職業に携わる社会人としての経験を踏まえ、諸課題を理論的に整理・考察し、論述できる力を評価・判定する。

■解答例（解答のポイント）

特定の解答に誘導すると知識・思考力等を測ることが困難になるため、解答例は公開しない。ただし、評価のポイントは、次の通りである。

P.2 設問 教育学研究指導（藤井 千春）（三上 敦史）（坂倉 裕治）（根津 朋実）（菊地 栄治）（三尾 忠男）（鴨川 明子）

解答のポイント/評価のポイント

教育現場における自身や周囲の経験を踏まえ、教職大学院に関する近年の成果と課題について、修了後のキャリアや教員研修、教職大学院以外の大学院との比較など、具体例を挙げつつ適切に述べられるかを評価した。

P.3 設問1 教育学研究指導（濱中 淳子）

解答のポイント/評価のポイント

実務関心を研究課題化する際の「歪み」を概念化し、その発生条件を整理したうえで、社会的問いへ翻訳する論理的構成力を評価した。

P.3 設問2 社会教育学研究指導（坂内 夏子）

解答のポイント/評価のポイント

社会教育が、個人と地域が時間をかけて結びつき、継続的な循環を生み出す仕組みであるという本質を理解できているかどうかを評価した。

P.4 設問 初等教育学研究指導（河村 茂雄）（佐藤 隆之）（大泉 義一）

解答のポイント/評価のポイント

設問 1

解答は受験者によって異なるが、各自の研究フィールドの実態と設問の内容（ピアフィードバックについて説明し、学習者同士のピアフィードバックの活動を効果的にするための教師に求められる対応のあり方）を関連させて具体的に論じられているかどうかを評価した。

設問 2

日本における美術教育の課題と展望について、中央教育審議会において提示された考えに対する自身の立場を明らかにし、依拠する理論を適切に示したうえで、自身の研究領域・テーマと関連付けながら具体的に論じられているかどうかを評価した。

以 上